**個人「研究」発表要旨　 様式 ①**

・≪≫の箇所には、≪≫内の内容を記載した後、※.≪≫内及び≪≫そのものは削除する。

・（）内には、そこに書かれてある内容を記載し、（）そのものも残す。

・本文は明朝体細字**10.5pt**で記載する。

≪タイトル：ゴシック体≫

≪サブタイトル＝ゴシック体≫

≪一行空き≫

○≪発表者の氏名≫（所属先）≪府県名≫社会福祉士会（会員番号）

≪共同研究者氏名≫（会員番号・所属社会福祉士会）、≪共同研究者氏名≫（会員番号・所属社会福祉士会）、≪共同研究者氏名≫（会員番号・所属社会福祉士会）

Ⅰ．研究目的

≪この研究はどのように社会に貢献するか、意義があるかなど、研究目的を記述≫

Ⅱ．研究方法≪「研究目的」をどのような手順で明らかにするかを記述≫

Ⅲ．倫理的配慮≪必ず明記する≫

Ⅳ．結果≪調査（アンケート、インタビューなど）の結果、または、事例等を記述≫

Ⅴ．考察

≪「Ⅳ．結果」（または、支援経過）を受けて、なぜそのような調査研究結果になったかの考察を記述≫

Ⅵ．結論

参考文献：

※A4版縦用紙横書き2枚で以上のような構成として、必要に応じて見出しを工夫して作成して下さい。

※日本社会福祉士会『研究誌』を参考にして記述してください。最新号をご確認ください。

**個人「実践報告」発表要旨　 様式 ②**

・≪≫の箇所には、≪≫内の内容を記載した後、※.≪≫内及び≪≫そのものは削除する。

・（）内には、そこに書かれてある内容を記載し、（）そのものも残す。

・本文は明朝体細字**10.5pt**で記載する。

≪タイトル：ゴシック体≫

≪サブタイトル＝ゴシック体≫

≪一行空き≫

○≪発表者の氏名≫（所属先）≪府県名≫社会福祉士会（会員番号）

≪共同発表者氏名≫（会員番号・所属社会福祉士会）、≪共同発表者氏名≫（会員番号・所属社会福祉士会）、≪共同発表者氏名≫（会員番号・所属社会福祉士会）

Ⅰ．実践の概要・目的

≪この実践はどのように社会に貢献するか、意義があるかなど、実践目的を記述≫

Ⅱ．実践の内容

Ⅲ．倫理的配慮≪必ず明記する≫

Ⅳ．実践の経過

Ⅴ．考察

≪「Ⅳ．実践の経過を受けて、なぜそのような結果になったかの考察を記述≫

Ⅵ．結論

参考文献：

※A4版縦用紙横書き2枚で以上のような構成として、必要に応じて見出しを工夫して作成して下さい。

※日本社会福祉士会『研究誌』を参考にして記述してください。最新号をご確認ください。